

NITO 住宅用分電盤 HPA・HSA・HSAT type 施工説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
 施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
 また、施工後は施主様に商品説明を行ってください。
 なお、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書・取扱説明書・仕様書は
 所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。
 有資格者以外の方の電気工事は法律で禁止されていますので、絶対に行わないでください。

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

❗ 実行しなければならない内容です。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

警告	
❗ 相線式（1φ2W,1φ3W）・回路電圧に合わせて選んでください。感電事故の防止ができません。	❗ ねじ締め・電線選定は説明書にしたがってください。火災になるおそれがあります。
注意	
❗ 主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。	❗ 単3中性線欠相保護付漏電ブレーカの過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。異常電圧が発生し電気器具を損傷するおそれがあります。

■施工上のご注意

- 住宅用分電盤は相線式（1φ2W,1φ3W）・回路電圧に合わせて選んでください。
 回路方式 ・単相2線式（1φ2W） 100V
 ・単相3線式（1φ3W） 100V / 200V
- 主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。相を間違えると異常電圧が発生します。
- 盤定格電流を超える主幹ブレーカは取付けないでください。
- 導電部の接続ねじは、右表の適正締めトルク範囲内で確実に締め付けてください。
- 導電部の接続ねじは、輸送中ゆるむおそれがあるため増締めを行ってください。
- 電線サイズは最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。主幹ブレーカ・分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。
- 分岐ブレーカには単線2本を接続しないでください。
- 圧着端子・圧着工具は JIS マーク品を使用してください。電線に適合した圧着端子を使用してください。
- 主幹ブレーカ2次側端子からの臨時配線は行わないでください。
- 単3中性線欠相保護付漏電ブレーカの過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。接続しないと、欠相した場合に、電気器具を保護できません。

導電部の接続ねじ適正締めトルク

ねじの呼び	締めトルクN・m
M4	1.2～1.6
M5	1.6～2.0
M6	3.0～4.5
M8	5.5～7.0

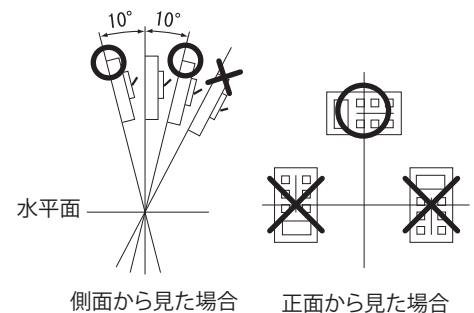
備考：機器端子M5圧着方式の場合は2.0～3.0N・m

主幹ブレーカ・分岐ブレーカ適合電線サイズ

主幹・分岐ブレーカの定格電流	電線サイズ
20A	φ1.6, φ2.0
30A	φ2.6, 5.5～8.0mm ²
40A	8.0～14.0mm ²
50A・60A	14.0～22.0mm ²
75A	22.0～38.0mm ²
100A	38.0mm ²

■設置上のご注意

- 周囲温度は -5～+40℃、相対湿度 45～85%範囲内、また24時間の平均温度は35℃を超えないよう、ご使用ください。
- 住宅用分電盤は、容易に操作・点検のできる場所に取付けてください。戸棚、便所、浴室などの内部には取付けないでください。
- 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。
- 屋内で使用してください。屋外や雨のかかる場所には使用できません。
- 住宅用分電盤を取付ける壁面は、平らな面を選んでください。凹凸のある場所へ無理に取付けないでください。
- 住宅用分電盤は、右図に示す範囲内で使用してください。
- 住宅用分電盤の前面には、障害になるようなものを置かないでください。



■使用上のご注意

- 分岐回路を200Vで使用するときは、必ず2P2Eの分岐ブレーカを使用してください。分岐回路を200Vに切替える場合の手順は、製品に貼付けまたは添付している説明書通りに行ってください。また、200Vに切替えた場合は、必ず200Vの表示をしてください。
- 線間の絶縁抵抗測定は漏電ブレーカが故障します。
- 不要な動作を防ぐため、商品に表示してある主幹ブレーカ定格電流の80%以内でのご使用をお奨めします。

■工事に際してのご注意

●取付けについて

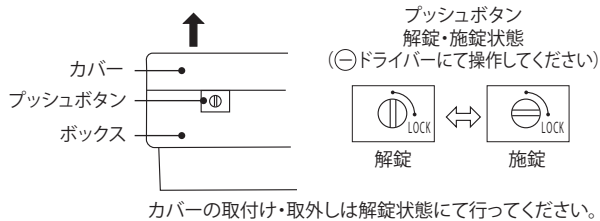
本体の取付けは、平らな面に取付けてください。凹凸のある場所へ無理に取付けますと本体がひずみ、正常な取付け状態・機能が維持できないことがあります。また、適切なねじ締付力で取付けてください。ねじの締めすぎによって本体がひずむことがあります。

本体の取付け・配線時、内部に切粉やゴミが入らないよう養生などの処置をしてください。切粉やゴミがかかると故障の原因になります。

●カバーの取外し方

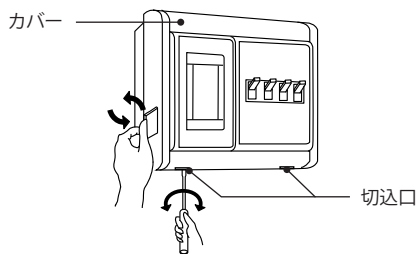
パターン① [HPA type]

ボックス下部のプッシュボタンを解錠位置にして押しながらカバーを手前に持上げてください。



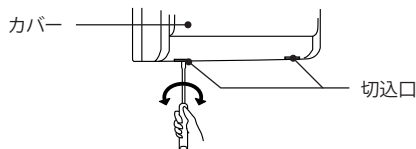
パターン② [HSA (HSA0-, HKA0-, HPKA0-) type]

カバー側面にある取手を手前に引張る、またはカバー下面の切込口に○ドライバーを差込み、回転させてください。



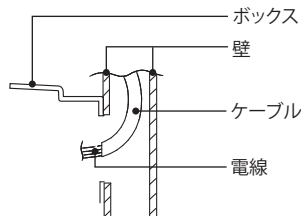
パターン③ [HSA (HSA3E-, HSA2L-), HSAT, HKAT type]

カバー下面の切込口に○ドライバーを差込み、回転させてください。



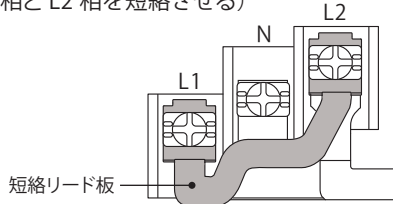
●ケーブルの引込みについて

分電盤への引込み主幹ケーブルが太い場合、本体・内部機器に干渉して本体が変形するおそれがありますので注意してください。図のように分電盤の間近でケーブル被覆をむいて入線するなどして、分電盤内の機器への影響を少なくしてください。



●単相2線式で使用する場合 [HSAT type]

単相2・3線式(兼用)機種において、単相3線式から単相2線式に切替える場合は、付属の短絡リード板を取付けてください。(L1相とL2相を短絡させる)

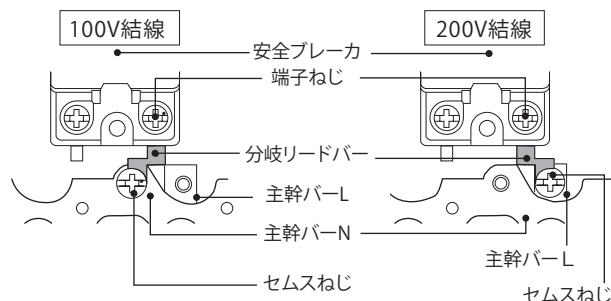


●分岐ブレーカ [HPA, HSA3E-, HSAT, HKAT type]

分岐回路を200Vで使用するとき、必ず2P2Eの分岐ブレーカを使用してください。(単相3線式分電盤)

○安全ブレーカ100V回路から200V回路への組替手順

- ① 端子ねじをゆるめ、セムスねじを取外す。
- ② 分岐リードバーを主幹バーNから外し、反転させ、主幹バーLにねじ締める。
- ③ ゆるめた端子ねじを全て締付ける。
- ④ 200V表示ラベルをブレーカ前面の見やすいところへ貼付ける。

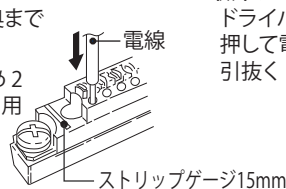


●アース端子への電線接続方法 [HPA type]

・接続

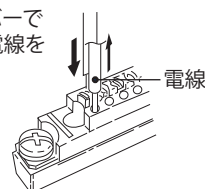
電線を奥まで差込む

φ1.6・φ2
単線用



・取外し

ドライバーで押し電線を引抜く



施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。この説明書の内容は2016年9月現在のものです。

C903451003